

委員会行政視察報告書

委員会名	産業建設常任委員会
出席委員等	松本雪美 委員長 原 憂子 副委員長 田畑 仁 委員 梶本茂躰 委員 角谷英男 委員 大森和夫 委員 【随行】西本隆志（議会事務局）
実施年月日	平成21年10月26日（月）
視察先	和歌山県田辺市
視察項目	紀伊田辺駅バリアフリー化設備整備事業について
視察結果	
<p>最初に、田辺市議会事務局岩本次長より歓迎の挨拶及び市の概要の説明を受ける。</p> <p>続いて、紀伊田辺駅バリアフリー化設備整備事業が完了するまでの経過説明を丸山企画広報課企画調整係長より、説明を受ける。</p> <p>その後の質疑では、紀伊田辺駅のバリアフリー化は跨線橋の新設を含めた事業総費としての2億5千万円であるが、和泉砂川駅の場合は、既存施設での改修での金額であるにも関わらず、紀伊田辺駅の事業費とさほど変わらないので、詳しい資料をいただきたいとの要望に、後日詳細資料を送付していただけることになりました。（別紙参照）</p> <p>また、まちづくりの方針として、駅前の中心街でシャッター街が増えている事は泉南市も同様であり、活性化のひとつとして、泉南でもダイヤの要望をした事もあるが、田辺市ではどうかとの問いに、紀勢本線の活性化協議会で議論をしている。観光都市である白浜町が中心となり、ダイヤの増発の要望をさせていただいている。また、バリアフリー化については、田辺市以外はできていないので陳情を行っている。ダイヤについてはあまり苦情はあまりないが、通学の普通電車の利便性を高めて欲しいとの声はあるとのことでした。</p> <p>また、バリアフリー化されて良かったことはとの問いに、使われている方は相対的に高齢者であるため、良かったとの意見が駅に寄せられているとのことでした。</p>	
<p>総括</p> <p>時間的配分の厳しい日程の中、視察が実施されましたが、田辺市において担当職員より詳細にわたり説明を受け、また各委員からも内容の濃い質疑が行われました。バリアフリー化の話題だけではなく、合併に関する話題や、観光振興に関する話題など大変参考になるお話を聞くことができました。また、現地視察も行い、和泉砂川駅でのバリアフリー化のイメージもつかめた事も有意義であったと考えます。日帰りでの強行スケジュールとなりましたが、充実した視察であったと確信しており、十分に所期の目的を達成することができたと思っております。今回の視察により得た内容については今後の市政に反映させ市の発展につなげていきたいと思っております。</p> <p>上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。</p>	
<p>平成21年10月30日 産業建設常任委員会 委員長 松本 雪美</p>	



田辺市議会事務局から挨拶



委員長から挨拶



委員長から挨拶



説明を熱心に聞く梶本委員と田畑委員



説明を熱心に聞く角谷委員と大森委員



説明を熱心に聞く松本委員長と原副委員長



田辺市役所前にて



駅ホームで説明を受ける



駅ホームで説明を受ける



駅舎玄関にて